

復活節第六主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏（黙祷）
「聖なるキリストは復活された」
J.G.ヴァルター作曲
あいさつ
讃 美 讃美歌 21/323 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 118 篇 22～28 節

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
✙ ヨハネによる福音書 21 章 15～22 節
（新 P211）
応 答 唱 讃美歌 21/39-4 番
教 話 井上隆晶牧師
『わたしを愛しているか』
使 徒 信 条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/335 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「ハレルヤ歌えよ」
日本聖公会聖歌集より

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 井上万里子
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 山千代憲一
受付当番 澤田真弓

【本日の予定】

◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：澤田真弓
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈祷会（礼拝後）
◇教会修養会（午後 1 時）

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・祈祷予定表の通り
◇英会話グループ
・5 月 29 日（木）午後 7 時 30 分

【次週主日 6 月 1 日のご案内】

◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：井上隆晶牧師
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✙使徒言行録 1：3～11
✙マルコによる福音書 16：15～20
（新 P213、P98）

・教 話
『昇天とは』
・讃美歌 21 337、39-4、338
・交読詩篇 詩編 68：19～22
・司式補佐 屋宮英男
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 黒澤 巖
・受付当番 勝見 仁
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈祷会（礼拝後）
◇定例役員会（午後 1 時）

聖 句

「三度目にイエスは言われた。『ヨハネの子シモン、わたしを愛して
いるか。』…イエスは言われた。『わたしの羊を飼いなさい。…』

（ヨハネ 21 章 17 節）

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》：26 日（月）「大阪
キリスト教連合会宗教施設見学（京都救世軍）」、
27 日（火）午後 2 時「大阪 YWCA 福祉会理事
会」、29 日（木）午後 3 時「大阪中部地区教師会」、
30 日（金）午後 3 時「全愛幼稚園理事会」、31
日（土）午前 10 時「大阪キリスト教連合会一致
祈祷会」
②《5 月の行事のお知らせ》
■5 月 25 日（日）午後 1 時「教会修養会（会堂
建築について）」昼食は教会で用意します。大切
な修養会です。できるだけご参加ください。
■5 月 31 日（土）午前 10 時「大阪キリスト教連
合会一致祈祷会」（大阪福島教会）、奮ってご参加
ください。
③【祈祷課題】
●新しい礼拝堂を建築するため。
●ウクライナとガザの戦争被災者のため。
④【先週の集会統計】

日	集 会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
18	CS 礼拝	—	1	6	7	¥2,900
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
18	朝の礼拝	7	15	3	25	¥22,050
20	朝の祈り	2	3	—	5	
21	朝の祈り	2	1	—	3	
23	朝の祈り	1	2	—	3	

- ⑤【5/18 の献金報告】
〔月定〕小坪英恵、澤田昌人（計 15,000 円）〔イ
ースター〕小坪英恵（計 3,000 円）〔各種感謝〕畑季
史子、山千代誠子（計 7,000 円）〔互助〕屋宮英男、
小淵公子、小淵賀裕、澤田昌人（計 6,000 円）〔建
築〕小坪英恵、澤田昌人（計 10,500 円）



【先週の説教要旨の続き】

▼（ヨハネ 5：17）と言って安息日に病人を癒さ
れました。ある修道士は、この聖書を読んで「私
たちも同じようにこの世では働くのです。休むた
めには永遠という時間が用意されてあるのです
から。」と言っています。私にも安息、休息が用
意されていることを思い、この世では働き続けたい
と思います。
イエス様は「さあ、来て、朝の食事をしなさい」
（12 節）と言われ、パンと魚を取って弟子たち
に与えられました。この岸辺での食事は、天国で
の食卓を連想させます。面白いことに、聖書は善
悪知識の木の実を食べる物語で始まり、イエス様
の手からいただくパンを食べる物語で終わって
います。聖書は「食べる話」で貫かれています。
キリスト教だけが、礼拝の中で共に食事（聖餐）
をします。食べるとは生きるという事です。つま
り人は神によって生きるものであり、神キリスト
の手から命をいただいて、永遠に生きる者となる
ことが人生の目標であると教えているのです。
人はこの世でも、来世でも自分の力では生きるこ
とは出来ません。私が未熟児で半年保育器の中に
いた時、自分の力では生きることは出来ませんで
した。それは大人になった今でも実は同じであっ
て、来世でも同じなのです。イエス様の手からい
ただく命のパンは何という力、何と美しいもので
しょう。私は来世でも永遠に生きるのです。
イエス様と共に人生の旅路を歩むことは何と楽
しい事でしょうか。これからも山あり谷ありの旅
が続くでしょう。困難があるほど、イエス様が共
にいてくださることが不思議な業やしるしによ
って見えてくるのです。この方がこれから何をし
てくださるのか楽しみです。
「さあ、来て、朝の食事をしなさい」この言葉を
味わい、天国の岸を思いながら、平安な心で生き
ましょう。

